

『インターハイ新聞掲載特集 第1弾』

石巻かほく（7月24日付）に、本校柔道部・カヌー部の特集が掲載されました。
近畿インターハイで石商旋風を巻き起こせ！頑張れ、石商生！

全国の強豪に挑む

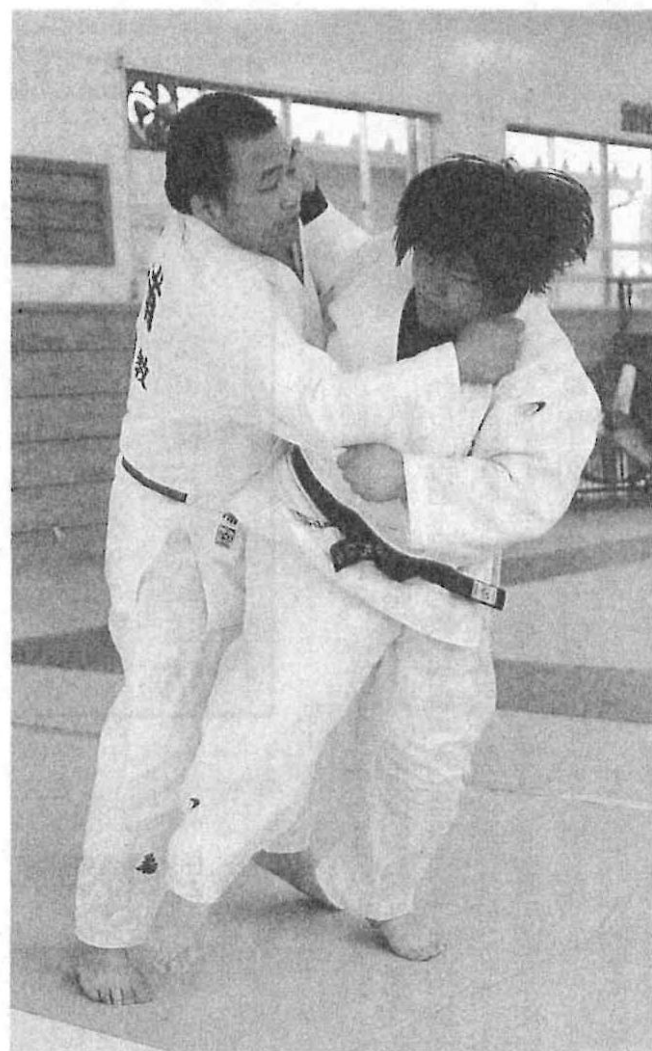
石巻商高 7人がインターハイへ

石巻商柔道部で43年ぶり、女子では初のインターハイ出場という快挙を成し遂げた。「1年生から全国に出ることを目標に掲げてきた。ここで終わりではなく、さらに上を目指す」と気合を入れる。

6月に女川町であった県総体は7階級あり、高橋が出場した78kg超級以外は全て東北高が優勝した。同階級の出場者は3人と少なかつたものの、私立2校の選手を下して代表の座をつかみ取った。

準決勝で当たった古川学園の選手は同学年で石巻市の中学出身。「何度も戦ってきたため技がうまくかからなかったが、得意の払い腰でポイントを取って押さえ込めた」と振り返る。決勝では東北高の選手と対戦。「中学時代に負けていたので、リベンジできようと思った」

女子出場 学校初の快挙 さらに高みを目指す



1年生でインターハイ出場を決めた高橋(右)

柔道は3歳から東松島市のスポーツ少年団で始めた。万石浦中でめきめきと実力を付け、強豪の青森山田(青森市)から特待生としての誘いもあったが、石巻商の顧問が父親の知り合いだったことなどから地元で腕を磨くと決めた。

柔道は8月7～10日に和歌山市の和歌山ビッグホエールで行われる。「本番に向け、寝技を強化する。気持ちで負けず、初戦に勝って勢いに乗りたい」と意気込んだ。

柔道・78kg超級

高橋 希乃佳(1年)

22日に開幕し、近畿地方などで8月21日まで開かれる全国高校総体(インターハイ)に、石巻商高のカヌー部と柔道部が出場する。カヌー部は3年の斎藤諒昊と、いずれも2年の佐々木蓮、亀山知隼、阿部瑠人、内村有生七、千葉美月の計6選手、柔道は1年の高橋希乃佳が大舞台に臨む。カヌーは伝統校の意地、柔道は同校女子では初という勢いを持ち、全国の強豪に挑む。選手たちに意気込みを聞いた。

(大谷佳祐)

カヌー部

上位入賞へ6選手 闘志 先輩の悔しさ晴らす

カナディアンペアで優勝。石巻商の選手の優勝は14年ぶりだった。

「全国に向けて弾みがついた」と喜ぶも「ペアに合わせたこぎ方になっていたので、本番までに修正したい」と気を引き締める。

女子のカナディアンシングルの出場する内村は中学時代の柔道、千葉は剣道から転向し、全国で戦えるまでに成長した。内村は「柔道で全国に行けなかった分、高校で1番を狙う」、千葉は「課題のスタミナ不足を克服して上位を目指す」と活躍を誓った。

カヌーは8月1～4日、兵庫県豊岡市の県立円山川公園周辺水域で行われる。



上位進出を目指す斎藤(左から3人目)らカヌー部のメンバー